



新施設・広場「おにクル」 特設ページ

おにクルってなに？

令和5年秋、新施設・広場「おにクル」が誕生します。

応援をお願いします！

寄附募集中



平成27年12月に元市民会館が閉館して以降、周辺を含めた「市民会館跡地エリア」の活用方法の検討を行い、現在、令和5年秋の開館に向けて整備が進んでいます。

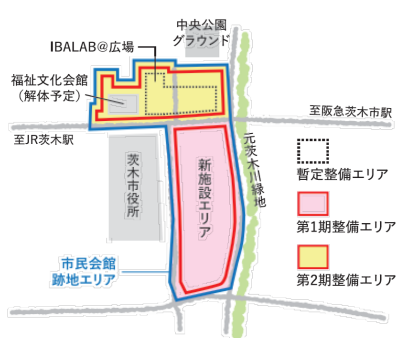
エリアの活用にあたっては、おにクルの使い方などを行政だけでなく、市民の皆さんと一緒に考え、作り上げていくという「育てる広場」をキーコンセプトとしています。



IBALAB@広場
Facebook



IBALAB@広場
Instagram



●第1期整備エリア

令和5年秋開館に向けて、新施設・広場「おにクル」整備中。

●第2期整備エリア

令和6年度までの暫定的な広場としてIBALAB@広場（イバラボひろば）を整備、運用中。その後、解体予定の福祉文化会館の敷地を含め、再度公園として整備する予定。

[市民会館跡地エリアの事業スケジュールはこちら](#)

おにクルはどんな施設になるの？

おにクルは、ホールや図書館、子育て支援、市民活動センター、プラネタリウムなど、多くの機能が入る複合施設です。

7階建ての各フロアが吹き抜けの「縦の道」でつながる施設の設計コンセプトは、「日々何かが起こり、誰かとお出会う」。それぞれの機能が混ざり合い、日々いろんなことがいろんな場所で起きている、また、いろんな人に出会える。そんな施設にしたいと考えています。

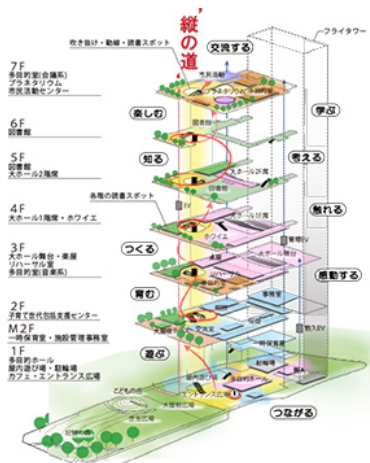
各機能の詳細については、下記のリンク先をご覧ください。

• [プラネタリウム](#)

子どもから大人まで楽しみながら宇宙について学ぶ場

• [市民活動センター](#)

誰もが訪れたくなる「みんなのえんがわ」



- [図書館](#)
「公園」のような図書館
- [ホール](#)
身近な市民の“ハレの場”
- [子育て支援](#)
妊娠から子育てまでのワンストップ拠点

[新施設・広場「おにクル」のイメージパース等はこちら](#)

「おにクル」の由来は？

愛称「おにクル」は、令和3年11月1日から1か月半募集した後、候補を絞って市民投票を実施し、投票結果や有識者の意見等を踏まえて決定しました。

「おにクル」は6歳（当時年長）のお子さんが命名。まちの様々なところで目にする鬼のキャラクター「いばらき童子」を見て、「怖い鬼さんですら楽しそうで来たくなっちゃうところ」という意味を込めたそうです。

詳細は以下のリンクをご覧ください。

[新施設・広場の愛称が決まりました！！](#)

市民会館跡地エリア新施設のイメージムービー



[市民会館跡地エリア新施設のイメージムービー（YouTube）](#)

整備の進捗について

令和元年度に元市民会館を解体し、令和2年度から第1期整備エリアにおいて新施設・広場の整備工事を行っています。進捗については以下のリンクよりご覧ください。

[新施設及び広場の整備について](#)

おにクル整備のタイムラプス動画

以下のYouTubeリンクからご覧ください。

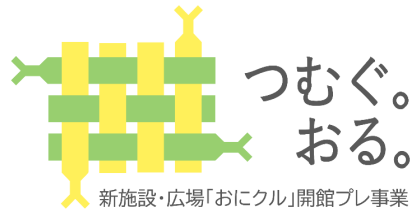
<https://youtu.be/BIBxR8JgNxY>

開館プレ事業について

令和5年秋の開館に向けて、期待感醸成や開館周知を目的にプレ事業を実施しています。過去と未来を途切れさせることなく、人や活動を育み、新たな場を生み出すことを目的とした「つむぐ。おる。」というコンセプトのもと、開館後におにクルで実施されそうな異なる機能同士（例：子育て×図書館）の連携事業など、おにクルらしい企画をたくさん進めていきます。

「つむぐ。おる。」とは

おにクルに入る各機能を中心として、関わる人や活動等の資源を「糸」に、糸同士の掛け合わせ、連携を「テキスタイル（織物）」に例え、それぞれを生み出す取組みをおにクル開館に向けた方向性として「つむぐ。おる。」と表現したものです。なお、開館プレ事業を実施する際は、ちらしなどに下記のロゴを用います。



「つむぐ。」

おにクルの各機能が行うコンセプトに沿った取組みを通じて、関わる人や活動など（糸）を増やしていくこと。

「おる。」

各機能が人や活動等の特徴を活かして、異なる機能との連携・コラボレーションにより、新たな場（テキスタイル）を生み出すこと。

プレ企画の詳細は、以下のリンクをご覧ください。

[新施設・広場「おにクル」開館プレ事業について](#)

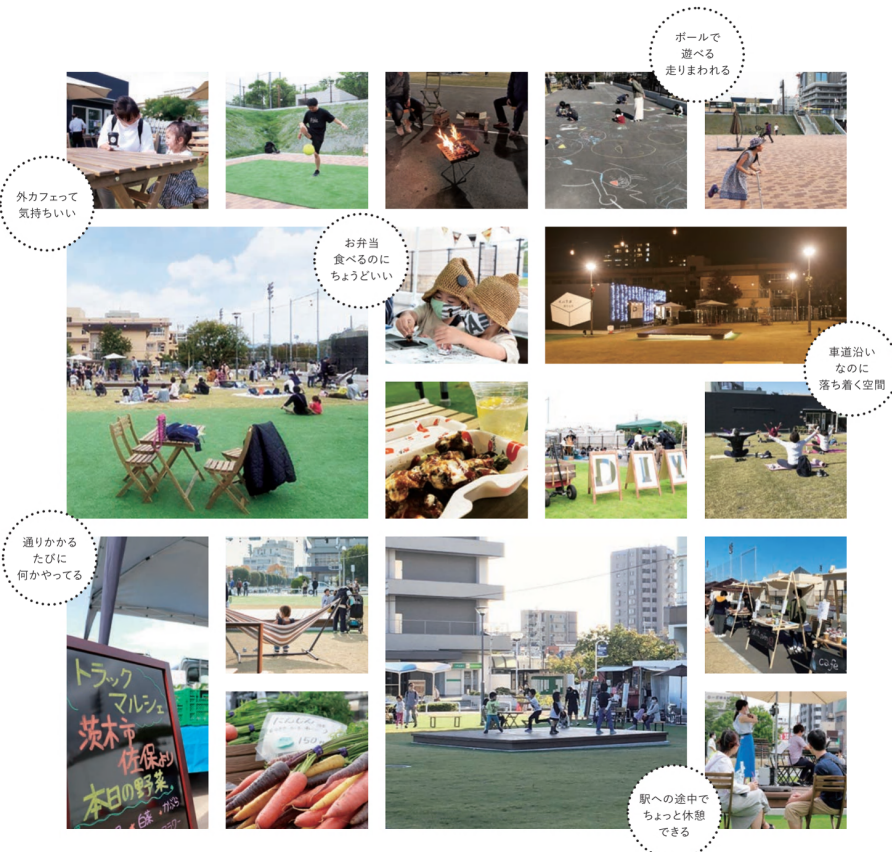
社会実験の場「IBALAB@広場」について

市民会館跡地暫定広場「IBALAB@広場」は、令和2年秋から令和6年度までの期間限定の広場です。

市民会館跡地エリアのキーコンセプト「育てる広場」の実現に向け、広場の設計段階から市民の皆さんと一緒に考え、現在も広場を「つかう」方たちと一緒にルールを考え、更新していくなど、広場を「つくる」段階にも参加していただくことで「つくる・つかう」の好循環を生み、みんなで広場と人の輪を育てています。

IBALAB@広場で生まれた活動や人のつながりは、「おにクル」にも引き継いでいきます。

広場の日常はこんな感じ



IBALAB@広場では、芝生の上でくつろぐ家族や、ストリートスポーツを楽しむ学生など、幅広い世代の日常的な憩いの場として親しまれています。また、コンサートやマルシェなどのイベントや、市民活動のお披露目など、たくさんの人が関わりながら、日々新しい風景が生まれています。

IBALAB@広場で何かやってみたい、チャレンジしてみたい方に

IBALAB@広場では、日頃の活動を表現したい、何か催しをやってみたい、という方のために広場や備品を無料で貸し出しています。

「おにクル」開館に向けたデータ収集を目的として、実験的に広場を使っただいただいていますので、使用後のフィードバックを含め、取組みへのご協力をお願いします。また、市民会館跡地活用推進課にいる広場のコーディネーターが、「広場を使ってみたいけど、イベントや活動の披露はしたことがない」という方の事前相談を受け付けていますので、ぜひご利用ください。

[IBALAB@広場の使い方や利用申請についてはこちら](#)

これまでの取組みについて

市民会館跡地エリアについて市民の皆さんと一緒に考え、作り上げていくというキーコンセプト「育てる広場」実現に向け、これまでワークショップや社会実験など、さまざまな取組みを進めてきました。

下記リンクをぜひご覧ください。

[市民会館跡地エリアにおけるワークショップ等の取組みについて](#)



社会実験「IBALAB」芝張りワークショップ(2018年)



市民会館解体仮囲いアートプロジェクト「カコイバ」(2019年)



新施設と広場をつくるワークショップ(2020年)



IBALAB@広場での「ひろばかいぎ」(2021年～)

この記事に関するお問い合わせ先

茨木市 企画財政部 市民会館跡地活用推進課

〒567-8505 大阪府茨木市駅前三丁目8番13号 茨木市役所本館3階

電話：072-655-2757

ファックス：072-623-3025

E-mail atochi@city.ibaraki.lg.jp

[市民会館跡地活用推進課のメールフォームはこちらから](#)

新施設の紹介「こども支援センター」について

更新日：2022年03月30日

現在、こども健康センター（春日三丁目13-5）で実施している
母子健康手帳の交付や、乳幼児健診などの母子保健事業、
子育て支援総合センター（東中条町2-13、合同庁舎4階、5階）で実施している
各種相談事業や子育てに関する講座、ファミリー・サポート・センター事業、一時保育等が
新施設で一体となり、妊娠・出産・子育てに関するすべての相談窓口をワンストップで提供します！



※このパースは基本設計時のイメージであり、今後の設計過程により変更となる可能性があります。

基本方針は「ネウボラ+（プラス）」

新施設におけるこども支援センターでは、
「妊娠・出産・子育て」に関するすべての相談窓口をワンストップで提供し、
施設内の各機能と連携した「ネウボラ+（プラス）」として以下のとおり事業を展開していきます。

- ・妊娠・出産・子育てに関するさまざまな相談にワンストップで対応し、必要なサービスにつながります。
- ・遊びにきた「ついで」に、さらに気軽に相談しやすい環境を提供します。
- ・新施設内の様々な機能と連携した子育て支援を実施します。

茨木市に「屋内こども広場」が誕生！

雨天等でもご利用いただける、木を基調とした「屋内こども広場」が
新施設とともにオープンします。

木の香りに包まれた森のような空間で、
"創る"、"触れる"、"感じる"など様々な体験から、子どもの豊かな感性を育み、
子どもも空間も変化し成長していく、そんな「まちなかの森」のような
場所にしていける予定です。楽しみにお待ちください！





※写真はイメージです。

この記事に関するお問い合わせ先

茨木市 こども育成部 子育て支援課 ☎567-8505
大阪府茨木市駅前三丁目8番13号
茨木市役所南館3階（20番窓口）
電話：072-620-1633
E-mail kosodate@city.ibaraki.lg.jp
[子育て支援課のメールフォームはこちらから](#)